

平成25年度 当初予算案

主要事項説明資料

政策企画部

主要事項説明資料目次

政策企画部

ページ	事業名	担当課(室)
共通 1	けいはんなエネルギー未来都市創造事業費	文化学研究都市推進室 府大学振興課 エネルギー政策課
政策企画 2	政策形成型SNS活用事業費	情報政策課
3	「明日の京都」推進費	戦略企画課 計画推進課
4	関西広域連合分担金	戦略企画課
5	大学のまち・京都推進事業費	戦略企画課
6	京都学生祭典開催助成費	戦略企画課
共通 7	みやこづくり推進事業費	計画推進課 商業・経営支援課
8	「海の京都」事業費	計画推進課 自然環境保全課 観光課 交通政策課
9	新・世界遺産事業費	計画推進課 文化芸術振興課 観光課 農政課
政策企画 10	地域振興計画推進費	計画推進課

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部

事業名	けいはんなエネルギー未来都市創造事業費		
予算額	99,000千円	新規・継続の別	新規・継続
事業内容	<p>1 目的 けいはんな学研都市において、電気エネルギーの自給都市モデルを構築するとともに、関西イノベーション国際戦略総合特区の要となる拠点整備の具体化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p><u>(1) けいはんなエネルギー未来都市づくり事業費 51,500千円</u></p> <p>①未来都市創造事業費 学研都市内の同志社山手地区、精華・西木津地区、木津地区等において、地域で消費するエネルギー（電気）の自給が可能となるモデルの構築を目指し、多様なエネルギー関連機器を導入 ・住宅スマート化（家庭への創エネ・省エネ・蓄エネ機器の導入支援） ・事業推進体制の整備 等</p> <p>②未来都市体感・情報発信費 エネルギー未来都市の全体像や、関連する京都府の取組等をわかりやすくアピールするための情報発信を実施 ・未来都市のイメージの発信や、メガソーラーを活用した環境学習を行う体験・学習ゾーンの整備運営 ・首都圏や海外などターゲットを絞った情報発信</p> <p><u>(2) けいはんなオープンイノベーション拠点整備事業費 12,000千円</u></p> <p>関西イノベーション国際戦略総合特区の要の施設となるオープンイノベーション拠点の整備に向け、関係大学等との協働により、施設利用を具体化する事業スキームを策定</p> <p><u>(3) 次世代型植物工場研究費 35,500千円</u></p> <p>京都府立大学精華キャンパス内の太陽光発電・燃料電池を備えた植物工場において、創エネ・省エネの次世代型植物工場の実証実験及び京都独自の高機能性野菜の研究開発</p>		
担当課名	文化学術研究都市推進室 府大学振興課 エネルギー政策課	課・担当 電話番号	075-414-5194 075-414-4525 075-414-4297

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	政策形成型SNS活用事業費		
予算額	26,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 目的</p> <p>急速に普及、拡大するSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等最新のICTを最大限に活用し、より一層の情報共有、府民協働を推進し、更なる府民満足の上の実現を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 政策形成型SNSの活用 政策策定段階から府民との協働による政策形成を図るため、政策形成型のSNS利用を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間SNS（フェイスブック、ツイッター等）の活用により実現 ・ SNS、京都府ホームページとの円滑な連携を実現 <p>(2) オープンガバメント化の推進 SNS等を通じてより府民との情報共有を推進する環境を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト毎の情報管理を実現 ・ SNS、京都府ホームページとの円滑な連携を実現（再掲） 		
担当課名	情報政策課	課・担当 電話番号	075-414-5961

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	「明日の京都」推進費		
予算額	20,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的</p> <p>「明日の京都」長期ビジョン（10年～20年後を展望）で描いた将来像を見据え、今後、取り組むべき具体方策や数値目標等を盛り込んだ「中期計画」及び4つの広域振興局ごとに地域の成長戦略を示す「地域振興計画」の総合的な推進を図るとともに、計画期間が平成27年3月に満了する「中期計画」及び「地域振興計画」の改訂に向けた検討を進める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 重点施策の立案及び政策課題の調査・検討 「明日の京都」推進のため、大学・NPO等の知的資源を活用しながら、重点施策や新規事業等の企画・立案、府政運営上の政策課題に関する調査・検討などを実施</p> <p>(2) 「明日の京都」第三者委員会の運営 「明日の京都」の進捗状況及び重点課題をとりまとめるベンチマークレポート作成への助言、「明日の京都」の推進に係る取組に対する評価等を行う公募委員等による第三者委員会を運営</p> <p>(3) 京都指標に係る府民意識調査の実施 「明日の京都」がめざす社会の実現に京都府が向かっているかどうかを測るための手段である京都指標のうち、府民の生活実態や意識に関する指標について、府民意識調査を実施</p>		
担当課名	戦略企画課 計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4352 075-414-4347

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	関西広域連合分担金		
予算額	90,492千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;"> 目的 対象 方法等 </div> <div> <p>趣 旨</p> <p>2府5県4政令市（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）を構成団体とする「関西広域連合」の運営に係る分担金</p> <p>○広域連合の事業内容</p> <p>防災、観光・文化振興、産業振興、医療、環境保全、資格試験・免許等、職員研修の7分野の事業及び広域行政の推進に係る基本的な政策の企画調整</p> <p>○分担金の主な内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部事務局事務費、議会経費、行政委員会経費 ・本部事務局職員に要する人件費 ・事業実施に要する経費 </div> </div>			
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4352

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	大学のまち・京都推進事業費		
予算額	19,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容	<p>1 目的</p> <p>あらゆる人々が活発に交流・連携し、世界中の学生や研究者を魅了する機能と環境を備えた「大学のまち・京都」づくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1)『京都ギャップイヤー』事業</p> <p>高大連携や大学と企業・地域とのマッチングにより、大学入学前・在学中や就職前等の期間（“ギャップ”）を活用し、高校生・大学生による地域実践活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都独自のギャップイヤー制度等の創設を目指した「新しい社会体験推進会議（仮称）」をオール京都体制で設置、運営 受入先の開拓や受入プログラムの作成、学生と企業等のマッチング等 <p>(2)「大学ユートピア特区」構想の策定</p> <p>ユートピア特区の実現に向け、大学に関する各種規制の特例措置や税制上の支援措置等について調査を行い、構想を策定し、国に提案（「総合特区」制度等を活用）</p>		
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4334

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	京都学生祭典開催助成費		
予算額	5,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 京都に学ぶ学生が主体となって企画運営を行う「京都学生祭典」の開催に対して助成を行い、「大学のまち・京都」を世界に発信し、京都の活性化を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 主催 京都学生祭典実行委員会 (学生による事業運営機関)</p> <p>(2) 日程 平成25年10月</p> <p>(3) 場所 平安神宮・岡崎周辺他</p> <p>(4) 内容 ・第11回京都学生祭典 「京炎そでふれ！」全国おどりコンテスト げんきっずスタジアム（子どもが楽しめる企画）等 ・地域交流活動 地域の清掃活動・夜間パトロール・打ち水等への参画 地域と学生がふれ合うイベントの企画運営</p> <p>(参考) 平成24年度「第10回京都学生祭典」の概要 テーマ： 想いと未来の「糸」を紡ぐ 日程： 平成24年10月7日（日） 場所： 平安神宮・岡崎公園一帯 来場者数： 204千人</p>		
担当課名	戦略企画課	課・担当 電話番号	075-414-4341

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
商工労働観光部

事業名	みやこづくり推進事業費		
予算額	19,100千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 「明日の京都」に基づき、府域の北から南まで、すべての地域が活力ある「みやこ」として輝くことができる地域づくりを進める「みやこ構想」について、情報発信・人づくりといった横断的なサポート事業を実施するとともに、京都の総合力を活かした「プラス1事業」により取組を強化する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ 情報発信サポート ・首都圏でのPRイベントの実施や情報発信参与の配置により首都圏での情報発信をサポート ・みやこサポートチームを配置し、取組のブラッシュアップや情報発信をサポート</p> <p>○ 人づくり・運営サポート ・ソーシャル・ビジネスとして「みやこ構想」に取り組む団体を地域力再生交付金（ソーシャル・ビジネス枠）等でサポート</p> <p>○ 「みやこ構想 プラス1」事業 京都の総合力により、みやこ構想を支援することにより取組を強化</p> <p>① 大学の力でプラス1 ・京都市域から学研都市及び府北部地域における産学連携拠点の整備等によりサポート</p> <p>② 文化の力でプラス1 ・京都を世界にある日本の文化財修復を担う一大集積地とすることによりサポート ・世界有数のコンテンツ拠点整備によりサポート</p> <p>③ 観光でプラス1 ・地域振興や地域のブランド化につながるスポーツ観光の実現や府北部に質の高い観光圏を形成する「海の京都」事業の展開によりサポート</p> <p>※ 個々の構想の重点事業については別紙（共通7-1、7-2）のとおり</p>		
担当課名	計画推進課 商業・経営支援課	課・担当 電話番号	075-414-4347 075-414-4865

■ 25年度当初予算 みやこ構想 重点事業

①丹後・食の王国構想

- ◎丹後・食の拠点整備事業 9,300千円
 - ・食関連企業の集積
 - ・学生レストラン開設による「丹後あじわいの郷」の強化
- ◎丹後・高級ブランド食材発信事業 19,560千円
 - ・丹後の食のブランド化の強化
 - ・丹後の食材の販路拡大

②日本海観光構想

- ◎山陰海岸ジオパーク・天橋立ブラッシュアップ事業 65,480千円
 - ・日本海の資源を活かした魅力ある観光のまちづくり
- ◎日本海・国際クルーズ誘致事業 38,150千円
 - ・府北部地域への広域的な観光誘客の実施
 - ・国際クルーズの誘致

③京都舞鶴港ランドブリッジ構想

- ◎京都舞鶴港・日本海側ゲートウェイ機能強化事業 77,800千円
 - ・中国・韓国・ロシアへのコンテナ船定期航路の確保
 - ・韓国(浦項)との国際フェリートライアルの実施
- ◎京都舞鶴港・港湾施設整備事業 500,000千円
 - ・外航クルーズ船等の受入環境の充実

④北京都ものづくり拠点構想

- ◎北京都ものづくりパーク形成事業 23,700千円
 - ・産学公連携による産業集積と高度化の支援拠点の設立
 - ・北部産業技術支援センターの充実強化
 - ・ものづくり企業の集積

⑤由良川里山回廊構想

- ◎京都由良川回廊自転車道整備推進事業 137,400千円
 - ・京都『ゆらりー』サイクリングロードの整備
 - ・サイクリストのためのサポートステーションの設置
- ◎由良川里山ふるさと保全活用支援事業 12,810千円
 - ・ふるさと保全と里山の資源活用
 - ・モデルフォレスト運動による森づくり

⑥京都丹波食と森の交流の都構想

- ◎京都丹波交流型クラインガルテン事業 3,100千円
 - ・クラインガルデンの開設検討・農家宿泊体験型教育旅行の実施
- ◎京都丹波・食と森の交流事業 2,900千円
 - ・交流推進体制の確立

⑦新京都伝統工芸ビレッジ構想

- ◎日本文化財修復拠点(人づくり拠点)設立事業 7,000千円
 - ・世界の日本文化財の確保や修復の仕組みづくり
 - ・伝統と文化のものづくり企業の集積
- ◎新世代職人(アートマイスター)育成事業 41,500千円

⑧北山文化環境ゾーン構想

- ◎新総合資料館（仮称）整備事業 902,546千円
 - ・新総合資料館（仮称）及び統合情報システム整備
 - ・国際京都学センター稼働に向けた取組の実施
- ◎3大学教養教育共同化施設（仮称）整備事業 2,928,139千円
 - ・3大学（医大・府大・工繊大）の教養教育共同化施設の整備
- ◎日本一おもしろい、心やすらぐ植物園づくり事業 115,000千円
 - ・並木・園路等の整備
 - ・公立総合植物園日本一を目指したPR活動

⑨京都太秦メディアパーク構想

- ◎京都太秦メディアパーク形成事業 26,000千円
 - ・クリエイティブセンターの再構築による映画・コンテンツ産業の拠点設立
 - ・コンテンツ関連企業の集積
- ◎スーパーコンテンツシティ形成事業 29,000千円
 - ・映画のクロスメディア展開を目指す映画祭等の開催
 - ・「コンテンツの舞台」（エンタメ聖地）のデータベース化・観光誘客等活用

⑩知恵産業首都構想

- ◎知恵産業・知恵ビジネス育成事業 21,700千円
 - ・中小企業の知的財産権のレベルアップ・保護活用
 - ・知恵ビジネスの発掘・普及
- ◎産学公連携中小企業イノベーション事業 483,767千円
 - ・産学公連携スーパーコーディネータの設置
 - ・企業連携・産学連携・産学公連携による中小企業の研究・製品開発支援

⑪宇治茶の郷づくり構想

- ◎宇治茶ブランド新展開事業 71,089千円
 - ・優良茶園の造園・改植等の実施
 - ・宇治茶の世界遺産登録に向けた取組の実施
- ◎宇治茶の郷魅力発信事業 10,400千円
 - ・世界遺産候補地や関連史跡を巡るツアーや抹茶挽き等の体験ツアーの実施
 - ・宇治茶伝導師により宇治茶の魅力を世界に発信

⑫次世代ものづくり産業創造拠点構想

- ◎京都イノベーションベルト形成事業 409,267千円
 - ・企業連携・産学連携・産学公連携による中小企業の研究・製品開発支援（再掲）
- ◎試作技術開発拠点づくり事業 150,000千円
 - ・産学公連携試作技術開発拠点（仮称）の構築
 - ・産学公連携スーパーコーディネータの設置（再掲）

⑬学術研究・未来の都構想

- ◎けいはんなエネルギー未来都市づくり事業 51,500千円
 - ・電気エネルギー自給都市モデルの構築
- ◎けいはんなオープンイノベーション拠点整備事業 12,000千円
 - ・関西イノベーション国際戦略総合特区の要の施設となる拠点整備に向けた取組

⑭環境・アグリバイオパーク構想

- ◎環境・アグリバイオパーク形成事業
 - ・環境・アグリ関連企業の集積
- ◎次世代型植物工場実用化事業 35,500千円
 - ・創エネ・省エネの次世代型植物工場の実証実験の実施
 - ・京都独自の高性能野菜栽培技術の確立
- ◎けいはんなエネルギー未来都市づくり事業（再掲） 51,500千円
 - ・電気エネルギー自給都市モデルの構築
- ◎けいはんなオープンイノベーション拠点整備事業（再掲） 12,000千円
 - ・関西イノベーション国際戦略総合特区の要の施設となる拠点整備に向けた取組

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部
商工労働観光部
建設交通部

事業名	「海の京都」事業費		
予算額	616,833千円 (うち港湾事業特別会計481,000千円)	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 平成26年度までに予定されている京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の開通、京都舞鶴港の整備進捗、北近畿タンゴ鉄道の再生等による府北部地域への人・ものの流れの増大を最大限に活かし、府北部地域を京都市観光と並び立つ「海の京都」とも言うべき質の高い観光圏とするため、平成27年度をターゲットイヤーとして、ハード・ソフトの観光関連事業を総合的かつ計画的に実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦略的な観光ソフト事業の実施 29,000千円 ・戦略的な観光プロモーション、周遊旅行企画づくり等の実施 ○ 発信力・集客力のある市町ごとの「戦略拠点」等の形成 66,500千円 ・景観形成に資する観光関連施設の外装等の修景を助成 ・府の集客施設の整備（丹後海と星の見える丘公園） ○ 「戦略拠点」等を結ぶ交流基盤等の利用促進 16,533千円 ・平成24年度導入の新デザイン車両を軸とした北近畿タンゴ鉄道（KTR）の魅力向上 ○ 京都舞鶴港外航クルーズ船等受入環境の整備 500,000千円 ・大型クルーズ船が寄港するふ頭の環境整備等 <small>(うち港湾事業特別会計481,000千円)</small> ○ 地域資源・人材の発掘及び事業への参画促進 4,800千円 ・地域内外の人をつなぎ事業を推進するコーディネーターを配置 		
担当課名	計画推進課 自然環境保全課 観光課 交通政策課 港湾課	課・担当 電話番号	075-414-4539 075-414-4706 075-414-4837 075-414-4360 075-414-5303

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部
文化環境部
商工労働観光部
農林水産部

事業名	新・世界遺産事業費		
予算額	41,742千円	新規・継続の別	継続
事業内容	<p>1 目的 「和食」の無形文化遺産登録に向け、世界への発信の強化や保護・継承を図るための取組を実施。また、京都府において世界文化遺産登録を目指す「天橋立」「宇治茶」について、「暫定リスト」登録に向けた取組を戦略的に実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 「和食」の無形文化遺産 24,842千円</p> <p>① 日本料理ワールドコンペティションの開催支援</p> <p>② 世界遺産登録記念イベントの開催</p> <p>③ 「和食」の高等教育機関検討事業 ・検討会の開催、基本構想の策定</p> <p>④ 体験型食育推進事業の実施（食文化の伝承）</p> <p>(2) 「天橋立」の世界文化遺産 10,900千円</p> <p>・国際的な基準や潮流に合致した提案書の作成</p> <p>・天橋立世界遺産登録可能性検討委員会による検討・推進</p> <p>・シンポジウム等開催による地元の協力・理解の促進</p> <p>(3) 「宇治茶」の世界文化遺産 6,000千円</p> <p>・国際的な基準や潮流に合致した提案書の作成</p> <p>・日本茶・宇治茶の世界文化遺産登録検討委員会による検討・推進</p> <p>・地元推進組織の設立とシンポジウム等開催による地元の協力・理解の促進</p>		
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> 目的 対象 方法等 </div>			
担当課名	計画推進課 文化芸術振興課 観光課 農政課	課・担当 電話番号	075-414-4539 075-414-4219 075-414-4837 075-414-4898

平成25年度 当初予算案主要事項説明

政策企画部

事業名	地域振興計画推進費		
予算額	1, 837, 096 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 ○「明日の京都」地域振興計画に基づき、総合的・戦略的な視点による地域づくりを進めるとともに、各地域が持てる資源と個性を活かし、戦略的に地域の活性化を実現するための「みやこ構想」について、本庁各部予算と各広域振興局予算を連動させて着実に推進する。		
	2 事業内容 (単位:千円)		
	局	事項	当初予算額 (うち局予算額)
	山城	局独自施策 ○災害に強いまちづくり・山づくり啓発事業 中小河川付近の住民の自主的な避難行動を啓発するとともに、山間地における地域ぐるみの減災対応を進める取組を展開 ○魅力あふれる宇治茶の郷づくり推進事業 「宇治茶の郷づくり」を推進するため宇治茶を素材としたツアーを地域と企画・実施するとともに、小学生を対象にした「お茶育」の取組を実施 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 736,756 ・農林水産業基盤整備事業費(茶業振興対策事業費)(農林) ・新・世界遺産事業費(宇治茶世界文化遺産登録推進事業費)(農林) 等)	756,856 (20,100)
	南丹	局独自施策 ○京都縦貫自動車道「食と文化でつながる京都丹波」プロジェクト 京都丹波の「文化」や「食」等の多様な地域の魅力を戦略的・一体的にPRする「京都丹波EXPO2013inなんたん」を開催 ○京都丹波の新しい交流推進事業 農家宿泊の教育体験旅行や、外国人向けサイクリングツアーを推進し、経済効果のある都市農村交流を創出 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 51,400 ・京都丹波「食と森の交流の都」づくり事業費(農林) ・日本文化財保存修復国際センター構想費(商工) 等)	68,500 (17,100)
	中丹	局独自施策 ○京都由良川回廊自転車道推進事業 自転車道の整備により、地域の安心・安全、スポーツ・健康づくり、加えて、新たな地域資源としてニューツーリズムなど交流人口の獲得・拡大を展開 ○中丹人流・物流獲得・拡大推進事業 京都舞鶴港築港100周年を機に、グリーンアップキャンペーンを展開するなど、おもてなしの心で中丹地域の人流・物流獲得・拡大の取組を加速 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 738,050 ・京都由良川回廊自転車道整備事業費(建設) ・京都舞鶴港外航クルーズ船等受入環境整備費(建設) 等)	756,150 (18,100)
丹後	局独自施策 ○丹後ウェルカムプロジェクト 「京都・丹後のたからもの展」を開催するとともに、「丹後おもてなし隊(仮称)」を結成するなど、地域の総力で魅力を発信 ○丹後「食の絆」プロジェクト これまで築き上げてきた「食の絆」をいかし、丹後の長寿を支える食材を使用した「丹後長寿御膳・弁当」を開発するなど、食の創造と発信を強化 ----- (<みやこ構想推進関係本庁予算> 125,990 ・丹後・食の王国構想プロジェクト推進事業費(商工・農林) ・山陰海岸世界ジオパーク推進事業費(文環) 等)	141,690 (15,700)	
共通	○地域の実情に即した戦略的な雇用創出事業の展開	113,900	
担当課名	計画推進課	課・担当 電話番号	075-414-4347